

にいがた共育通信

平成29年
2月28日
第44号

発行 新潟市教育委員会教育総務課企画室

TEL 025-226-3178 FAX 025-230-0401

URL http://www.city.niigata.lg.jp/kosodate/gakko/gakko_keikaku/kyoikutsushin/index.html

1 キラキラ新潟っ子	新飯田小学校（南区） 曾野木小学校（江南区）……………	P. 1
2 キラキラ新潟っ子応援団	スポーツ鬼ごっこ愛好会 Oni Base Niigata 廣澤晃隆さん(西区) …	P. 1
3 特集記事	新潟市の一貫教育について……………	P. 2～3
4 健やか地域づくり	地域を元気にするコミュニティビジネス入門(豊栄地区公民館) …	P. 3
	食育ミニフォーラム in 東石山（東区）……………	P. 3
5 いじめの防止に向けて	いじめを見逃さない学校づくりに取り組みます……………	P. 4
6 学校との連携	平成28年度「にいがた市民文学」入賞作品……………	P. 4
7 教育委員会情報	市立図書館からのお知らせ 教育委員会定例会・臨時会……………	P. 4

キラキラ新潟っ子

地域と連携して子どもを育てる

新飯田小学校（南区）

新飯田小学校では、豊かな自然環境のもと、地域の方々の営みや伝統文化の力を生かし、地域との豊かな関わりの中で教育活動を推進しています。

毎年5月には、公民館との共催で「新飯田小学校・地区民大運動会」が行われます。子どもたちの競技に応援をいただくほかに、地区民参加の地区対抗競技もたくさんあるので、大人たちの真剣勝負に子どもたちも熱い視線を送っています。また、学校にお孫さんなどが通っていないくても、毎年この運動会を楽しみにしているお年寄りがたくさんいらっしゃるようです。



総合的な学習の時間の様子
(梨の受粉を体験)

生活科や総合的な学習では、「地域に学ぶ・地域で学ぶ」を合言葉に、新飯田地区の農産物、歴史や文化について、多くの方からゲストティーチャーや学習ボランティアとして支えていただいています。

地域との豊かなかかわりは、子どもたちの学習や成長を助け、地域を愛する子どもの育成に役立っています。

「共に高まる」そのきの子

曾野木小学校（江南区）

曾野木小学校の教育目標は「共に高まる」です。子どもたち同士が共に高まるだけでなく、子ども・保護者・学校・地域が連携・協力して「共に高まる」教育活動を展開しています。

曾野木地区公民館が学校と隣接しているため、子どもたちが地域とかかわり、「共に高まる」関係を築きやすい環境にあります。地域のお茶の間「まなびやサロンそのき」では、公民館の協賛により、「フルーツ演奏会」「スイカ割り」などのイベントを年4回開催しています。これらのイベントは、地域と学校を結び、子どもたちが地域の方とのふれあいを深め、共に楽しむ場となっています。



地域の方と昔遊びを楽しむ子どもたち

この他にも、登下校の見守りをはじめ、校外学習やマシン学習の補助、昔遊びやキャリア教育の講師など、地域の方から支えていただいている教育活動はたくさんあります。

今後も子どもたちのきらきらした素敵な姿が見られるよう、地域の方と共に高まっています。

キラキラ新潟っ子応援団

スポーツ鬼ごっこ愛好会 Oni Base Niigata 廣澤晃隆さん（西区）

オニ ベース ニイガタ ひろさわあきたか



「スポーツ鬼ごっこ」とは、2チームに分かれて相手の宝を取り合う鬼ごっこです。廣澤さんは、小学校のPTA行事やふれあいスクールなどで、愛好会の仲間とともに、このスポーツ鬼ごっこを教えてくださいました。

「人は、大切な人に出会いたいという願いをもって生まれてきました。たくさんの人に出会い、思いどおりにならないことや痛みを体験することで、大切な人を再確認し、願いが成就します。スポーツ鬼ごっこもその体験の一つです。」と廣澤さんはおっしゃっています。



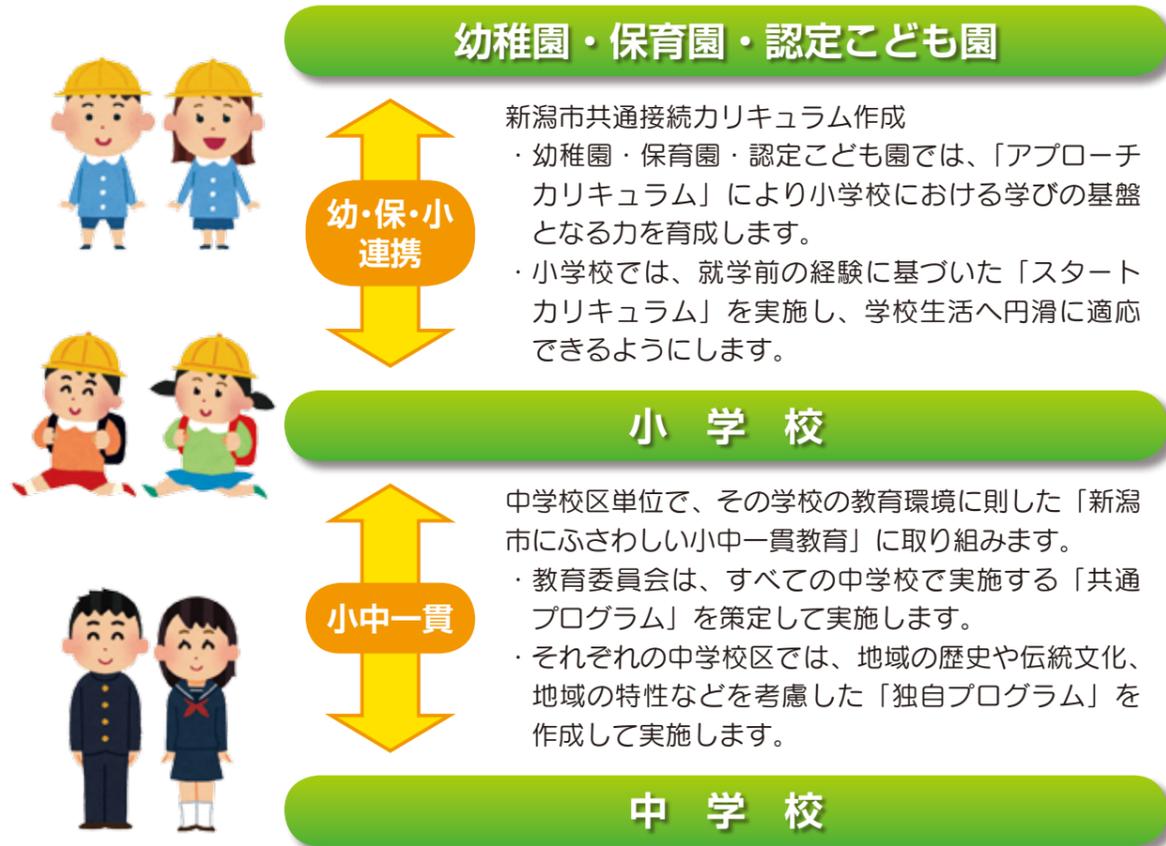
特集 新潟市の一貫教育について

新潟市教育委員会は、本市が目指す子どもの姿「学力・体力に自信をもち、世界と共に生きる心豊かな子ども」を実現するための施策の一つとして、就学前から義務教育終了までの一貫教育を実施するための準備をすすめています。

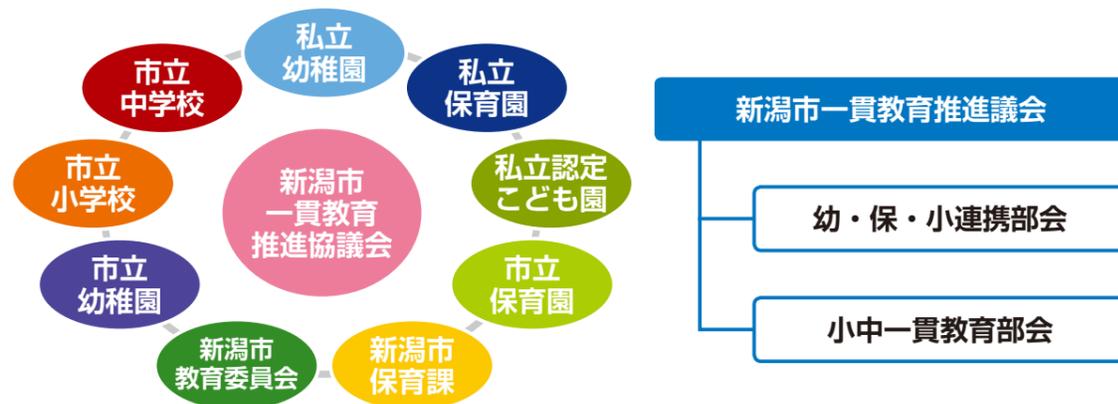
ここでは、新潟市がすすめている一貫教育の概要についてお知らせします。

<問合せ先 教育総務課 TEL 025-226-3177>

1. 新潟市がすすめる一貫教育のイメージは、次のとおりです。



2. 新潟市の一貫教育は、私立の幼稚園・保育園・認定こども園の代表が参加しており、官と民が一体となってすすめます。また、協議会には2つの部会を設けて、それぞれの部会で一貫教育の内容について検討協議しています。



3. 一貫教育の目的は次の3つです。

- 1 確かな学力の獲得**
 ・社会の変化や新たな課題に対応できる生きて働く力の獲得など
- 2 学校(園)間の滑らかな接続**
 ・不登校やいじめ問題の早期発見・即時対応、小1プロブレムや中1ギャップの解消など
- 3 教職員の資質の向上**
 ・教育関係職員の専門性・指導力の向上、異なる学校(園)種理解促進など

4. 新潟市にふさわしい小中一貫教育を実践研究するパイロット中学校区は、次のとおりです。

平成28年度パイロット校	平成29年度パイロット校
・新潟柳都中学校区 (中央区)	・木崎中学校区 (北区)
・両川中学校区 (江南区)	・東石山中学校区 (東区)
・味方中学校区 (南区)	・新津第一中学校区 (秋葉区)
・潟東中学校区 (西蒲区)	・赤塚中学校区 (西区)



5. 新潟市共通接続カリキュラムを先行実践する幼・保・小連携モデル園は、次のとおりです。

平成29年度モデル園
・学校法人恵愛学園愛泉幼稚園 (中央区) ・市立小合東幼稚園 (秋葉区)

※保育園のモデル園については、現在調整中で、年度末までに選定する予定です。

健やか地域づくり

地域を元気にするコミュニティビジネス入門 ~地域貢献活動の持続可能な事業化を考える~

平成26年に、元総務大臣で「日本創生会議」の増田寛也氏が「地方消滅」という本の中で「2040年までに896の自治体が消滅する」という衝撃的な発表を行ったことから、平成27年は国をあげて地方創生をすすめる契機となり、『地方創生元年』と位置づけられました。この年に、持続可能な地域づくりに役立てることを目的として、「とよさか未来塾」で開催したコミュニティコーディネーター育成事業がこの講座です。

コミュニティビジネスは、地域の課題解決を第一の目的として、地域住民が活動主体となり、ビジネス手法で持続可能を実現する点が特徴です。期待される効果は、『コミュニティの再生』と『地域経済の活性化』を同時に達成できる点にあり、スピード感があります。

各自が、それぞれの課題解決に向けて地域の資源からサービスや商品を設定し、いかに稼ぐかを考える過程で、マイナスの要素が実は宝物だったと気づかされたり、コミュニティ協議会でも儲けてよい等と考えたりしながら、明るくプラス思考で事業計画書を完成させました。

受講生からは「新しい視点を教えられた」「今後の活動に生かしたい」等の感想が聞かれました。

<問合せ先 豊栄地区公民館 TEL 025-387-2014 >



食育ミニフォーラム in 東石山 ~東石山中学校~

今年度、東石山中学校では、保護者、地域住民及び関係機関と協働して食育に取り組んでいます。全校生徒が「食への意識」を高め、食にかかわる生活習慣の改善を目指しています。

12月10日(土)に『ウェルカム参観日』として【食育ミニフォーラム】と【食についての授業公開】を実施しました。食育ミニフォーラムでは、保健給食委員会が、実態調査の分析を基にした当校生徒の食に関する課題を発表し、問題意識を高めました。

その後、光晴中学校の齊藤公二栄養教諭(公認スポーツ栄養士)による「夢をかなえる食事」と題した講演を聞き、食の大切さを再認識しました。

また、県栄養士会のご協力をいただいたワークショップ授業では、当日までに一人一人が摂った食事記録を分析し、食習慣の改善プランを考える企画に全校生徒が挑戦しました。この取組は実感を伴った食への意識の向上につながりました。今後も、学校を含めた地域ぐるみで「食への意識」を高め、健やかな地域づくりをすすめていきます。

<問合せ先 保健給食課 TEL 025-226-3209 >



いじめを見逃さない学校づくりに取り組みます

新潟市教育委員会では、昨年11月に市立小学校の4年生が担任の不適切な発言で不登校となった事案を重く受け止め、こうした事案の再発防止といじめを見逃さない学校づくりを目指した取組をすすめています。

12月12日に教育委員会職員を対象とする研修会を実施するとともに、19日には全市立学校の校長、20日には教頭と生徒指導担当者を対象に研修会を実施しました。文部科学省「いじめ防止対策協議会」の座長を務めておられる森田洋司先生をお招きして、「今、学校がすべきことは何か」についてご指導をいただきました。

現在、「新潟市いじめの防止等のための基本的な方針」の改定に取り組んでいます。各学校が、実態に応じて迅速かつ組織的に取り組めるよう、フローチャートや具体例を取り入れ、3月に完成させる予定です。

今回の事案については第三者委員会で審議しており、12月に開催した第1回委員会でこれまでの調査結果を説明し、1月には委員による関係者への聞き取りを行いました。2月末には最終答申を予定しています。

いじめを見逃さない学校づくりの取組については、平成29年6月30日発行予定の次号でお知らせします。

学校との連携

平成28年度「にいがた市民文学」入賞作品

市民のみなさんから文芸作品を募集し、作品集を発刊する「にいがた市民文学」の表彰式が11月23日（水・祝）にクロスパルにいがたで行われました。

「にいがた市民文学」は、「小説」「詩」「短歌」「俳句」「川柳」「児童文学」「随筆」「コント」の8部門で、それぞれ19歳以上の「一般の部」と18歳以下の「青春の部」の作品を募集しています。今年度は、「青春の部」には481作品の応募があり、23名が表彰されました。

詩部門の青春大賞には、木戸中学校一年生の島倉 一成（ペンネーム「うみの さかな」）さんの作品「うまれた」が選ばれました。



とう ひかり めが いだ った	とう わが い な か わ	ぼく は う ま れ た	ひ な み だ が で る ほ ど	は じ め て み た う み	う み に う ま れ た	ぼく は う ま れ た	う ま れ た	う み の さ か な （島倉 一成）
-----------------------------	------------------------------	-----------------------------	---	--------------------------------------	---------------------------------	-----------------------------	------------------	---------------------------------------

受賞について島倉さんは、「国語の授業でつくった詩です。このような体験は初めてで、とても緊張しましたが、市長さんに表彰してもらうほどの賞をとれて嬉しかったです。」と喜びを語ってくれました。

にいがた市民文学は、毎年4月末から（「青春の部」は9月初旬まで）作品の募集を行っています。

ぜひ、学校の授業でつくった作品や夏休みにつくった作品を応募してみてください。

<問合せ先 文化政策課 TEL 025-226-2563>

教育委員会情報

<市立図書館からのお知らせ>

イベント情報

市立図書館では、「こどもの読書週間」（4月23日～5月12日）に合わせて様々なイベントを行います。詳細につきましては、各図書館のチラシやホームページ等で最新情報をご確認ください。

中央図書館 <問合せ先 TEL 025-246-7700>

- 「外国語の絵本の読み聞かせ」（当日直接会場へ）※小学生以上が対象です
日時：3月24日（金）午前10時30分～11時 場所：中央図書館 ビーンズルーム

豊栄図書館 <問合せ先 TEL 025-387-1123>

- 「春のおはなしリレー」（当日直接会場へ）
日時：こどもの読書週間中に予定 場所：豊栄図書館 おはなしのへや

坂井輪図書館 <問合せ先 TEL 025-260-3242>

- 「春のおやこシアター」（当日直接会場へ）
日時：5月3日（水・祝）午前10時30分～ 場所：坂井輪地区公民館 5階ホール



<教育委員会定例会・臨時会の概要>

- | | |
|--------|---|
| 12月定例会 | 平成28年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について ほか |
| 1月定例会 | 新潟市いじめの防止等のための基本的な方針の改定案に対するパブリックコメントの実施について ほか |
| 2月定例会 | 旧齋藤氏別邸庭園、古津八幡山遺跡、旧笹川家住宅 保存活用計画策定について ほか |